

Canon

Satera LBP612C LBP611C

はじめに お読みください



プリンターを設置しよう



日常的にお使いになるときに

付録

設置のしかたと使いかた

ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。➡ 17ページ

お読みになった後は

本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

※本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Mac OSをお使いのお客様へ

Mac OS 用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

商品別 OS 対応状況は <http://canon.jp/support> を、最新ドライバーのダウンロードについては <http://canon.jp/download> をそれぞれご覧ください。



本機の全機能は、ユーザーズガイドで説明しています。

canon.com/oip-manual

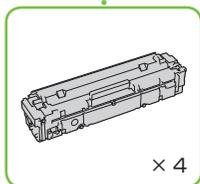
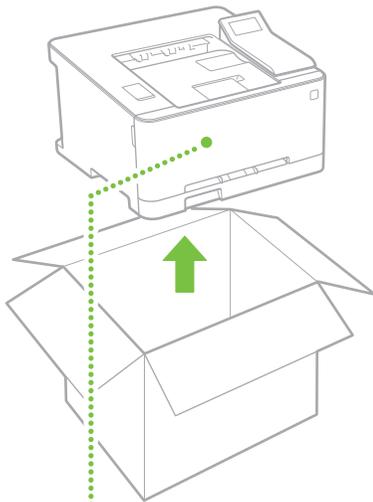
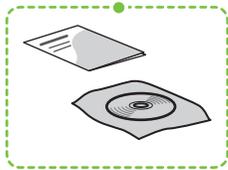
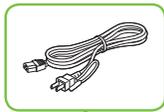
でご覧いただくことができます。



設置する



同梱品



× 4

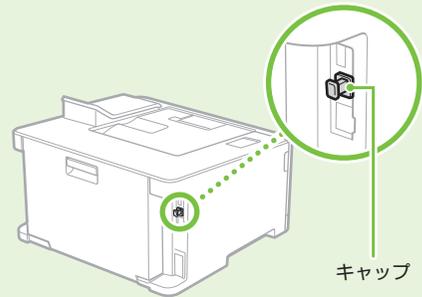
スタータートナーカートリッジが付いています。



本体を設置する

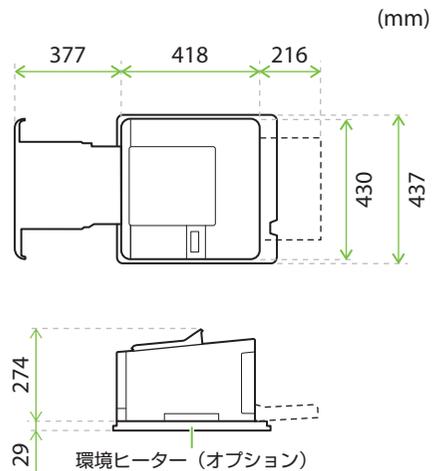
設置の前に

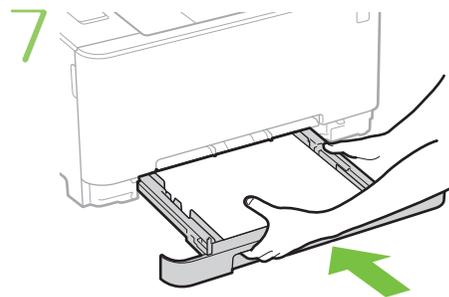
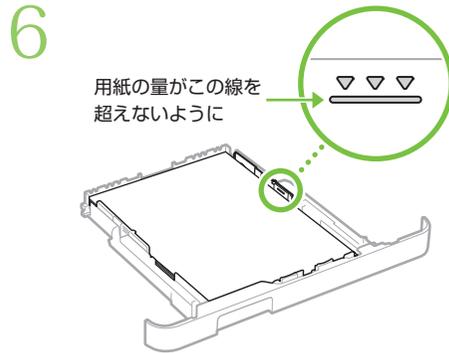
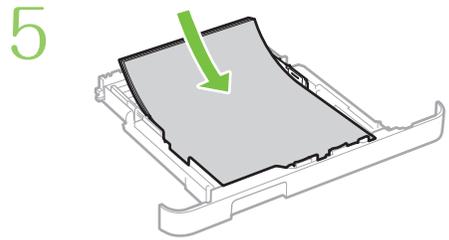
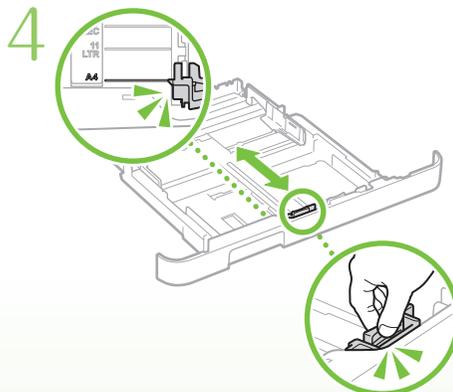
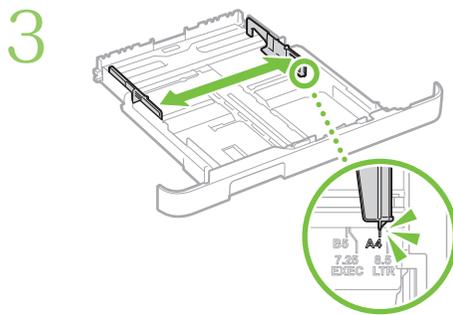
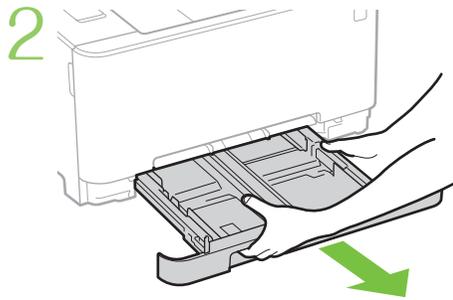
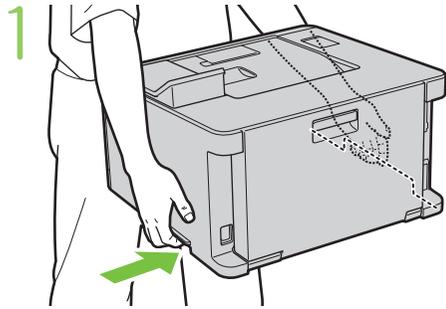
- ・テープはすべて取り外してください。
- ・USBポートのキャップは取り外さないでください。



このような場所に設置しよう

以下の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください（周囲は100 mm以上のスペースをあけてください）。





8 環境ヒーターを設置する (オプション)

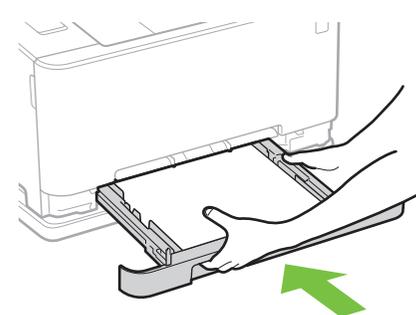
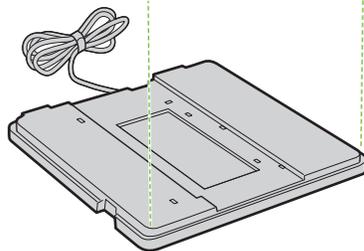
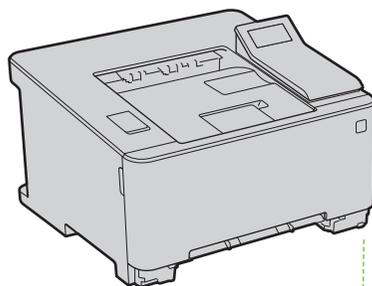
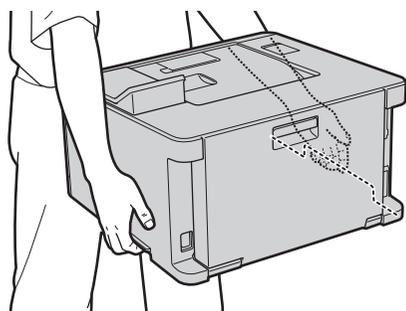
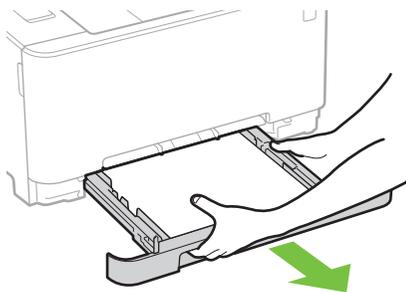
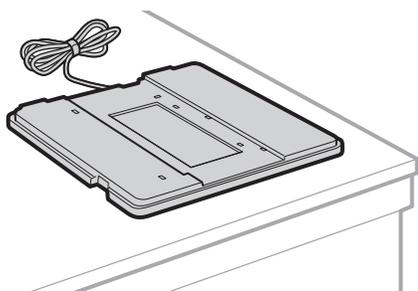
環境ヒーターをあとから設置するときは

本機をすでに使用している場合は、環境ヒーターを箱から取り出す前に、次の操作を行ってください。

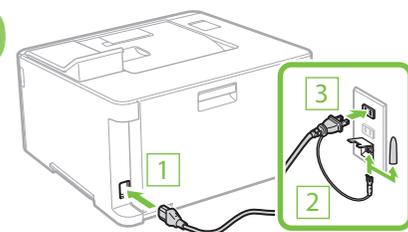
- ① パソコンの電源を切る
- ② 本機の電源を切る
- ③ コンセントから電源プラグを抜き、アース線を取り外す
- ④ 本機から電源コードを抜く
- ⑤ LANケーブル、USBケーブルが本機に接続されている場合は、それらを取り外す

設置する

❗ お使いの環境によっては、電源を入れてから用紙の吸湿を低減させるまで時間がかかる場合があります。効果が現れない場合は、未開封の新しい用紙に交換してください。



9



続いて、本体の初期設定を行います。

設定する

初期設定について詳しく知りたいときは

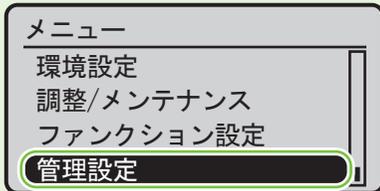
設定ナビでセットアップする [ユーザーズガイド](#)

1660-009

検索

本体の初期設定をする

画面の操作



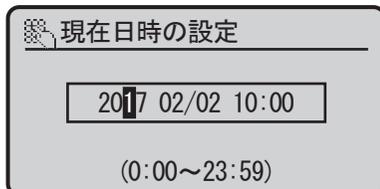
該当する項目を ▲、▼、◀、▶ で選択して **OK** を押します。

・文字入力のしかたについては、「文字を入力する」(→ P.11) をご覧ください。

1



2 現在の日時を設定する



3 不正アクセスを防ぐための設定をする

リモートUIを使用する場合
第三者からの不正アクセス
を防止するために、
リモートUIアクセス暗証番号の
設定を推奨します。

リモートUIアクセス暗証番号を
設定しますか？ (設定
は後からでも可能)

はい

いいえ

リモートUIアクセス暗証番号

<確定>

・確認のため、暗証番号の入力は2回行います。

続いて、パソコンとの接続方法を
設定します。

本体の初期設定をする

設定する

パソコンとの接続方法を設定する

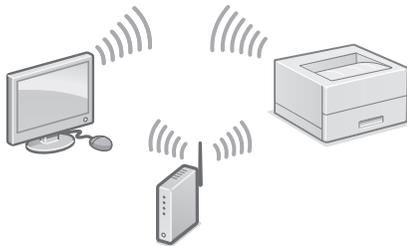
❗ 設定前の注意

- ・機種によっては無線LANを使用できません。
- ・セキュリティーで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- ・ルーターは付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・本機を有線LANと無線LANの両方に接続することはできません。

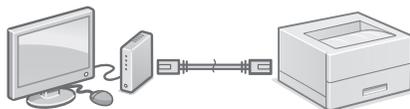
■ 接続方法を選ぶ

通信環境やお使いの機器に合わせて接続方法を選択し、各ページに移動して設定を行ってください。

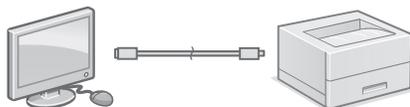
無線LANで接続するときは ➔ P.6



有線LANで接続するときは ➔ P.8



USBで接続するときは ➔ P.9



- 💡 無線LANルーターのない環境でも「アクセスポイントモード」を使うと、お手元のモバイル機器から無線で本機に直接接続できます（ダイレクト接続）。

➔ ユーザーズガイド

1660-068

🔍 検索

■ 無線LANで接続する

1

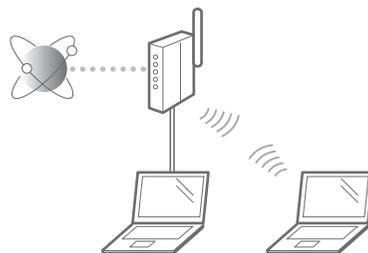
無線LANを使用してネットワーク接続しますか？（設定は後からでも可能）

はい

いいえ

2

パソコンと無線LANルーターが正しく接続されていることを確認する



- ・詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。メーカーにお問い合わせください。

3

パソコン側のネットワーク設定が完了していることを確認する

4

SSID（ネットワーク名/アクセスポイント名）とネットワークキー（暗号化キー）を確認する



無線LANルーターのラベルを確認してください。

無線LANルーターに以下のマークがあるときは、ボタンを押すだけで簡単に設定することができます。



WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する → ユーザーズガイド

1660-00J

検索

検索番号の使いかた → 裏表紙

5

詳しい設定方法については取扱説明書をご確認ください。

OK

6

無線LAN設定

SSID設定

WPS プッシュボタン方式
WPS PINコード方式
AOSS

7

SSID設定

アクセスポイント選択

手動入力

8 画面に従って、手順4で確認したSSIDとネットワークキーを設定する

アクセスポイント選択

SSID_01 なし 7
SSID_02 WEP 11
SSID_03 WPA-PSK 13
SSID_04 WPA2-PSK 9

新しい設定で接続します。よろしいですか？

はい

いいえ

接続しました。

閉じる

このあと、IPアドレスが設定された画面が表示されたら、[閉じる]を選んでください。

9

IPアドレスを自動で設定する

→ P.8 「IPv4アドレスを自動で設定する」

設定する

■ 有線LANで接続する

❗ 有線LANケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。

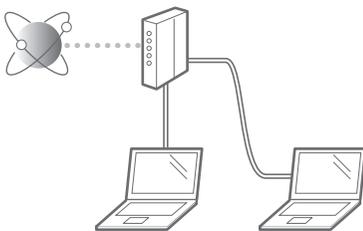
1

無線LANを使用してネットワーク接続しますか？（設定は後からでも可能）

はい

いいえ

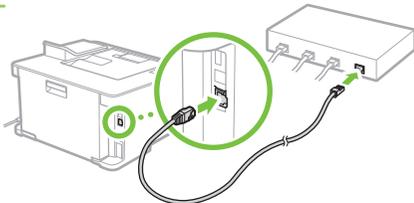
2 パソコンとルーターが正しく接続されていることを確認する



・詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。メーカーにお問い合わせください。

3 パソコン側のネットワーク設定が完了していることを確認する

4 LAN ケーブルを接続する

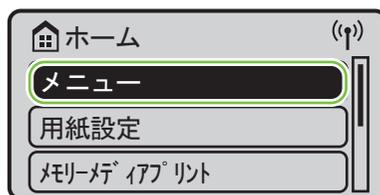


・このあと、IP アドレスが設定された画面が表示されたら、[閉じる] を選んでください。

5 IPアドレスを自動で設定する
➔ P.8 「IPv4アドレスを自動で設定する」

■ IPv4アドレスを自動で設定する

1



・ [メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定] ▶ [IP アドレス設定] ▶ [自動取得: ON] ▶ [プロトコル選択: OFF] ▶ [DHCP] ▶ [確定]

2

本機を再起動する
・電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。

3

ソフトウェアをインストールする
➔ P.9 「ソフトウェアをインストールする」

これで初期設定は終了です。

❗ A4以外の用紙をセットしたときは

「本体を設置する」(➔ P.2)の手順5で「A4」サイズ以外の用紙をセットしたときは、必ず用紙設定を変更してください。

➔ P.13 「用紙の設定をする」

IPアドレスを手動で設定するとき

パソコン側に固定IPアドレスを設定している場合は、本機のIPアドレスを手動で設定する必要があります。

IPアドレスを設定する

➔ ユーザーズガイド

1660-00W

検索

■ USBで接続する

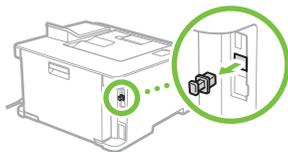
- ❗ USBケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・ USBケーブルは、右のマークがあるケーブルをご使用ください。
- ・ USBケーブルは、インストール画面で指示があるまで接続しないでください。万一接続してしまったら、パソコンからUSBケーブルを抜き、ダイアログボックスを閉じて、「■ソフトウェアをインストールする」の手順1からやり直してください。



1 「無線LANを使用してネットワークに接続しますか?」の画面で「いいえ」を選ぶ

2 ソフトウェアをインストールする
➡ P.9

- ・ USBケーブルを接続する画面が表示されたら、USBポートのキャップを取り外してください。



これで初期設定は終了です。

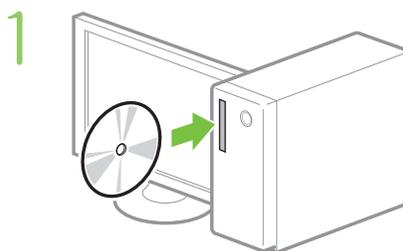
❗ A4以外の用紙をセットしたときは

「本体を設置する」(➡ P.2)の手順5で「A4」サイズ以外の用紙をセットしたときは、必ず用紙設定を変更してください。

➡ P.13 「用紙の設定をする」

■ ソフトウェアをインストールする

ドライバーやソフトウェアをインストールします。インストールの詳細は、ドライバーのマニュアルを参照してください。



画面が正しく表示されないときは

DVDを入れ直すか、Windowsで「D:*Mlnst.exe」を検索してください (DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明)。

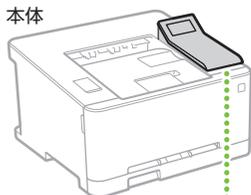
Mac OSをお使いのお客様へ

- ・ Mac OSでのインストールについては、ドライバーのマニュアルを参照してください。
- ・ Mac OS用のドライバーは、ご購入の時期によっては付属されていない場合があります。最新ドライバーがキャノンホームページに順次掲載されますので、ダウンロードしてお使いください。

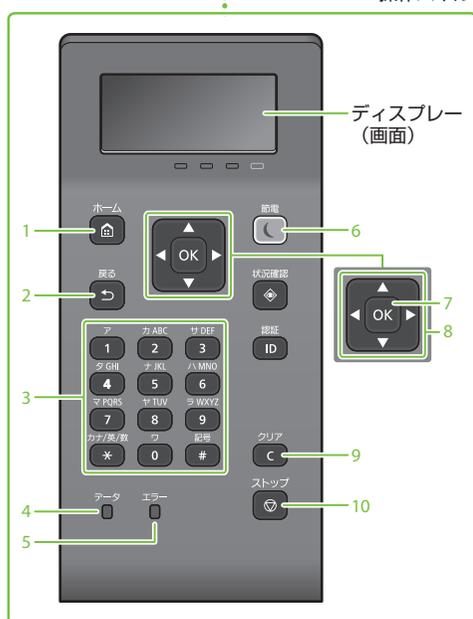
お使いになる前に

操作パネルから操作開始

本体



操作パネル



- 1. ホームキー**
機能や設定の入り口となるホーム画面を表示するときに押します。
- 2. 戻るキー**
現在表示されている画面から1つ前の画面に戻るときに押します。
- 3. 0 ~ 9、*、#**
文字を入力する P.11
- 4. データランプ**
 - ・通信中などの動作中：点滅
 - ・処理待ちの文書がある：点灯
- 5. エラーランプ**
 - ・紙づまりなどのエラー：点滅
 - ・キヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」に連絡する必要があるエラー：点灯
- 6. 節電キー**
 - ・スリープモード中：点灯
 - ・スリープモード解除中：消灯
- 7. OKキー**
選択や設定した内容を確定するときに押します。
- 8. ▲、▼、◀、▶ 上、下、左、右キー**
項目の選択、数値の変更、カーソルの移動などするときに押します。
- 9. C キリアキー**
入力した文字や数字を削除するときに押します。すべての文字や数字を削除するときに押し続けます。
- 10. ストップキー**
動作を止めるときに押します。

■ 文字を入力する

文字や数字を入力するときは、**0** ~ **9**、*****、**#** を使います。

	入力モード*		
	aA (a/A)	12	か
1	@-_/	1	アイイオ アイイオ
2	ABCabc	2	かきくこ
3	DEFdef	3	サシセソ
4	GHIghi	4	チツテトツ
5	JKLjkl	5	ナニヌノ
6	MNOmno	6	ハヒフホ
7	PQRSpqrs	7	マミムモ
8	TUVtuv	8	ヤヨヤユヨ
9	WXYZwxyz	9	ラリルロ
0	(入力不可)	0	ワヲ
#	(スペース) @ ./- _! ? & \$ % # () [] { } < > * + = " , ; ' : ^ ` ¥ ~	(入力 不可)	ゝ (濁音) ゜ (半濁音) - (ハイフン)

入力モードを切り替える

***** を押すと、文字の種類が「か→aA (英字)
→12 (数字)」のように切り替わります。

スペースを入力する

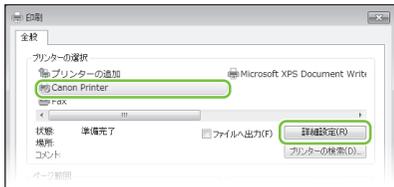
: 入力モードが<aA>のときに **#** を押して、(スペース) を選びます。

▶ : 文字の最後にカーソルを合わせて、▶ を押します。

プリントする

1 印刷したい文書を開き、アプリケーションの印刷機能を選ぶ

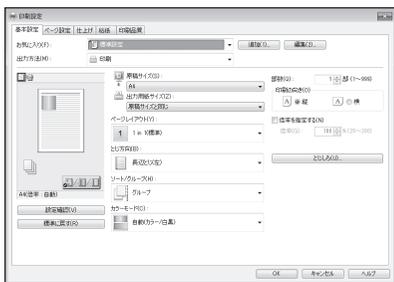
2 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] を選ぶ



3 用紙サイズを設定する

4 給紙部と用紙種類を設定する

5 必要に応じて**プリント設定**をする



6 [OK] を選ぶ

7 [印刷] または [OK] を選ぶ

■ 両面*

用紙の両面に印刷。とじしろも設定できるので、ホチキス留めするときにも便利です。



■ 集約

複数のページを縮小して、1枚の用紙に印刷。サムネイルで閲覧したり、用紙を節約したりするときに便利です。



■ 製本印刷*

用紙の両面に2ページずつ原稿を印刷します。用紙の中央で折ると本のような体裁に！

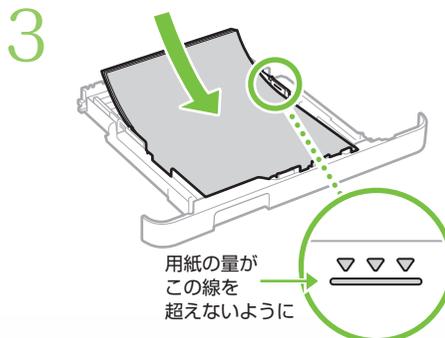
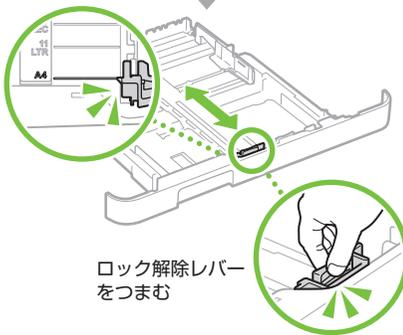
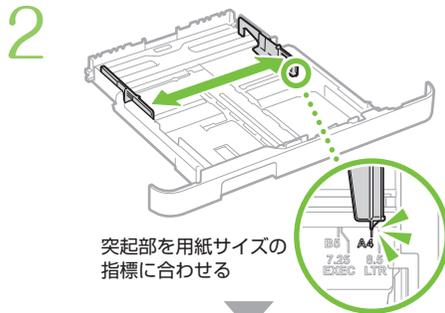
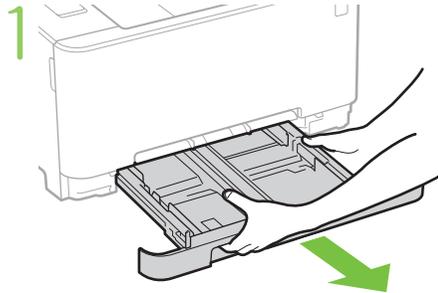


* 機種によっては使用できません。

📌 各機能の詳細およびそのほかの機能については、ドライバーのヘルプをご覧ください。

用紙をセットする

給紙カセットにセットする



4 給紙カセットを本体にセットする

⋮

用紙のサイズや種類を変えた場合は、必ず用紙設定を行ってください。

■ 用紙の設定をする

1 を押し、[用紙設定] を選ぶ

2 画面表示に従って、用紙のサイズと種類を設定する

用紙設定

手差し

カセット1

ユーザー設定用紙登録

よく使う用紙サイズの選択

用紙サイズ(よく使う)

フリー

A4

A5

A5R

用紙種類

普通紙L (61~70 g/m²)

普通紙1 (71~82 g/m²)

普通紙2 (83~90 g/m²)

再生紙1 (60~70 g/m²)

定形サイズ以外の用紙をセットするときは ユーザーズガイド

給紙カセットにセットする

手差し給紙口にセットする

1660-02Y

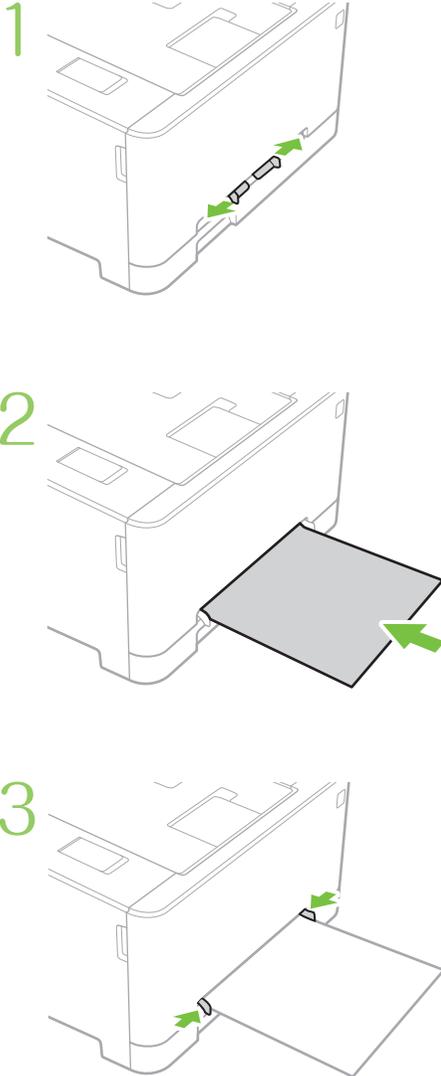
検索

1660-030

検索

用紙をセットする

手差し給紙口にセットする



・用紙設定の画面が自動で表示されます。

4 画面表示に従って、用紙のサイズと種類を設定する

用紙サイズ(よく使う)

ユーザー設定

フリー

A4

A5

用紙種類

普通紙 (61~70 g/m²)

普通紙1 (71~82 g/m²)

普通紙2 (83~90 g/m²)

再生紙1 (60~70 g/m²)

封筒・はがきをセットする

下の表を参考に、正しい向きにセットしてください。

基本的な用紙のセット方法は、以下をご覧ください。

給紙カセットの場合 → P.13

手差し給紙口の場合 → P.14

・インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
 ・封筒・はがきをセットする前に、カールを取り、整えてからセットしてください。

	給紙カセット	手差し給紙口
洋形長3号	<p>封筒</p> <p>給紙カセット</p>	<p>手差し給紙口</p>
長形3号		
はがき	<p>通信面 宛名面</p> <p>はがき</p>	<p>通信面 宛名面</p>
往復はがき	<p>往信面 返信面</p>	<p>往信面 返信面</p>

こんなときは…

困ったときは  ユーザーズガイド

1660-0AE

 検索

故障かな?と思ったときは

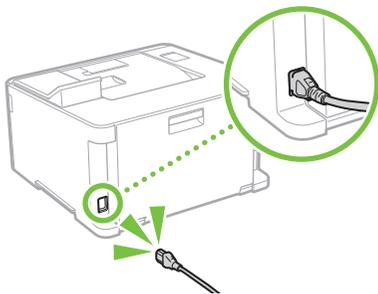
以下を確認してください。

- 電源は入っていますか?
- スリープモードになっていませんか?

ディスプレイと  が消灯していたら、電源スイッチを押す。



- 電源コードは接続されていますか?



解決しないときは、以下を参考にしてください。

- ・ユーザーズガイド
- ・Q&A検索
(<http://cweb.canon.jp/e-support/index.html>)

用紙が詰まったときは

画面の指示に従って、用紙を取り除いてください。



トナーカートリッジを交換するときは

画面の指示に従って、トナーカートリッジを交換してください。



■ 交換用トナーカートリッジ型番

- ・Canon Cartridge 045 Black
(キヤノントナーカートリッジ 045 ブラック)
- ・Canon Cartridge 045 Yellow
(キヤノントナーカートリッジ 045 イエロー)
- ・Canon Cartridge 045 Magenta
(キヤノントナーカートリッジ 045 マゼンタ)
- ・Canon Cartridge 045 Cyan
(キヤノントナーカートリッジ 045 シアン)

- ・Canon Cartridge 045 H Black
(キヤノントナーカートリッジ 045 H ブラック)
- ・Canon Cartridge 045 H Yellow
(キヤノントナーカートリッジ 045 H イエロー)
- ・Canon Cartridge 045 H Magenta
(キヤノントナーカートリッジ 045 H マゼンタ)
- ・Canon Cartridge 045 H Cyan
(キヤノントナーカートリッジ 045 H シアン)

付録

安全にお使いいただくために

本書では設置と電源についてのみ記載しています。必ずユーザーズガイドで記載されている「安全にお使いいただくために」もお読みください。

▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

■ 設置について

▲ 警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所（壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上等）
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

▲ 注意

次のような場所には設置しない
落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

その他の注意

- 本機を持ち運ぶときは、マニュアルの指示に従って正しく持ってください。誤った持ち方をすると、落とすなどして、けがの原因になることがあります。
- 本機を設置する場合は、床面や壁との間などに手を挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

■ 電源について

▲ 警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたリ、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

アース線を接続してください

- コンセントのアース線端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース線専用端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース線端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

■ 取り扱いについて

▲ 注意

レーザー光について

この製品はIEC60825-1:2014およびEN60825-1:2014においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本機では、レーザー光はカバーや外装で遮蔽されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

- このマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- マニュアルで規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

■ 安全規格関連の注意マーク

- | 電源スイッチオン（入り）
 - 電源スイッチオフ（切り）
 - Ⓛ スタンバイ（待機状態）
 - ① プッシュプルスイッチ ■ "ON" ■ "OFF"
 - ⊕ 保護接地端子
 - ⚠ 内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
 - ⚠ 注意：高温、触れないよう注意してください
 - Ⓜ クラスII機器
 - ⚠ 可動部有：可動部に触れないよう注意してください
- MEMO
お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

v1511_00_ja-JP

■ レーザー光の注意ラベル



■ 消耗品について

▲ 警告

トナーカートリッジを火中に投げないでください。また、トナーカートリッジや用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になることがあります。

■ おことわり

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（ ）内の名称で登録されていることがあります。Satera LBP612C / LBP611C (F169600)

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

電波法について

『本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備(認可番号：207-633728)を用いています。』

電波に関するご注意

本製品は、2.4 GHz帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要ありませんが、次の点にご注意ください。

- 心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください
心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くで本製品をご使用になると、本製品からの電波がペースメーカーなどの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。
- 電子レンジの近くでは使用しないでください
電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。
- 本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません
本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。その場合は、本製品や無線機器の設

付録

置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。

● 移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください

本製品の使用周波数帯域は、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、お客様相談センター（お問い合わせ）へご連絡のうえ、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（お問い合わせ）へお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。
- DS/OF : 変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。
- 4 : 想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。
- — — : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

MEMO

本製品は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。

商標について

Macは、Apple Inc.の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、WordおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキャノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」に含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場

合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。

- ・お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
 - ・お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
 7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
 8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。下記のホームページを参照していただき、該当する「本製品」の取扱説明書に記載されている「付録」の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。
<http://canon.com/oip-manual>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。以上

■ 環境ヒーター EH-C1について

▲ 警告

- 電源コードをプリンターとヒーターの間に挟まないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

【アース線を接続してもよいもの】

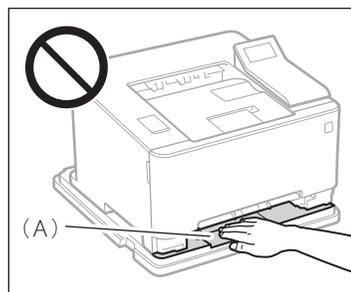
- ・電源コンセントのアース線端子
- ・接地工事（D種）が行われているアース線端子

【アース線を接続してはいけないもの】

- ・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
 - ・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
 - ・電話線…アースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
 - ヒーターを使用していないときは、電源プラグを抜いてください。万一ヒーター部分に手などが触れた場合、やけどの原因になります。
 - 電源プラグを定期的に取り外し、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリ、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったホコリが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

▲ 注意

- 用紙交換や、紙づまり処理などカセットを外して内部の点検をするときは、ヒーター周辺 (A) に直接触れないように注意するか、ヒーターの電源を切って十分温度が下がってから点検してください。やけど、または低温やけどの原因になることがあります。



ご注意

- 熱に弱い床材の上に置く場合は、断熱をしてください。床材の変色・変形・割れ・すき間等の原因になります。

Memo



検索番号 の使いかた

1. オンラインマニュアル サイトを表示する

canon.com/oip-manual

2. ユーザーズガイドを 選択する

[Satera LBP] ▶
[カラー] ▶本機を選ぶ

3. 検索番号でユーザーズガイドを 検索する

ABCD-123



ご購入製品の保証登録のお願い



無償保証*および「保証書」電子発行（閲覧および印刷）

※製品によって無償保証期間は異なります。

リモート・サービス (RS)*やパッケージ型保守サービスのお申込み

※対象製品はホームページをご覧ください。

登録機器情報および保証期間、他サービス申込情報の確認

➡ 詳しくはこちら <http://canon.jp/biz-regists>

お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店または修理受付窓口へお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>) 内のサポートのページでご確認いただけます。

Canon

キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6



FT6-1796 (010) XXXXXXXXXX Copyright CANON INC. 2017 PRINTED IN XXXXXX